

2023年8月10日

各位

会社名 株式会社 JDSC
代表者名 代表取締役社長 加藤 聡志
(コード: 4418、東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 作井 英陽
(TEL. 03-6773-5348)

営業外費用（貸倒引当金繰入額）及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2023年6月期第4四半期（以下「当四半期」といいます。）において、以下のとおり営業外費用（貸倒引当金繰入額）及び法人税等調整額（益）を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 営業外費用（貸倒引当金繰入額）の計上

2023年6月6日開示の「当社が導入している信託型ストックオプションに関する対応について」に記載のとおり、5月29日、国税庁と経済産業省により、新型の株式報酬「信託型ストックオプション（以下、「信託型S0」）への課税に関する説明会が開催されました。国税庁は、会社側が付与した権利を従業員が行使して株式を取得した時点で実質的な給与にみなされるとの見解を公表し、行使済みの従業員に対しても、会社側が遡及して源泉徴収を求める必要があると示しました。既に信託型S0の一部が従業員に付与済みであり、複数の従業員ならびに退職済の元従業員が権利を行使して株式を取得しております。当社は、公表された見解に基づき源泉所得税の納税を実施した上で、求償を行ってまいりましたが、全額について求償が完了していないため、当四半期において貸倒引当金繰入額18,998千円を営業外費用として計上いたしました。この計上により、2023年6月期通期連結累計期間における貸倒引当金引当額は18,998千円となりました。

2. 法人税等調整額（益）の計上

当社は、繰延税金資産の増加に伴い、当四半期において法人税等調整額（益）21,470千円を計上いたしました。この計上により、2023年6月期通期連結累計期間において法人税等調整額（益）は54,641千円となりました。

なお、上記の営業外費用及び法人税等調整額（益）が業績に与える影響は、本日開示の「2023年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上